

平成 23 年度重要海域抽出検討会の開催について（案）

1. 目的

我が国の海洋生態系の健全な構造と機能を支える生物多様性を保全して、海洋の生態系サービスを持続可能なかたちで利用することを目的に、平成 23 年 3 月に「海洋生物多様性保全戦略」（以下、「海洋保全戦略」と呼ぶ）が策定された。平成 23 年度重要海域抽出検討会（以下、「検討会」と呼ぶ）は、この海洋保全戦略において示された「生物多様性の保全上重要度の高い海域（以下、「重要海域」と呼ぶ）の抽出」について検討することを目的に開催する。

2. 位置付け

検討会は、環境省が開催するものであり、海洋保全戦略に示された方向を具体化し、重要海域の抽出基準、生物地理区分、その他具体的手法など必要な事項を検討して重要海域を抽出する。

検討会は、海洋の生物多様性について幅広い知識を有する有識者を検討委員とし、環境省及び必要に応じてオブザーバー（有識者・関係省庁等）をもって構成する。検討会は、希少種の保全に支障等がある場合を除き、原則公開とする。

3. 開催期間

今年度中に 2 回の開催を予定している。なお、重要海域の抽出は、平成 23 年度～平成 25 年度の 3 ヶ年をかけて実施することを想定している。

第 1 回会合（平成 23 年 12 月 21 日） 抽出基準等の具体的手法の検討

第 2 回会合（平成 24 年 2 月下旬頃） 抽出基準等の具体的手法の決定

4. 検討委員

桜井 泰憲	北海道大学大学院水産科学研究院 教授
白山 義久	独立行政法人海洋研究開発機構 研究担当理事
武岡 英隆	愛媛大学沿岸環境科学研究センター長 環境動態解析分野 教授
中田 薫	独立行政法人水産総合研究センター研究推進部 研究主幹
向井 宏	京都大学フィールド科学教育研究センター 海域陸域統合管理学研究部門 特任教授